

風水害に備えよう

① 避難場所や避難経路を確認しましょう

日頃からハザードマップを見ておきましょう。



② 防災グッズを点検しましょう

非常持出品、非常備蓄品を定期的に確認しましょう。



③ 家の点検・整備をしましょう

- テレビアンテナはしっかり固定しましょう。
- 壁に亀裂や腐食、浮いた部分がないかを確認しましょう。
- 扉のひび割れや傾きを確認しましょう。
- 排水溝の水はけをよくしましょう。
- トタンのめくれを確認しましょう。
- 網戸が強風で飛ばないようにしましょう。
- 灯油タンクをしっかりと固定しましょう。
- プロパンガスのボンベをしっかりと固定しましょう。

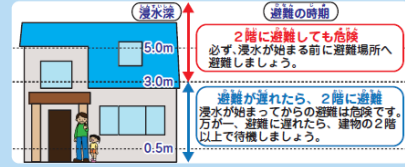
④ 危険が近づいてきたら...

- 気象情報を確認しましょう。** (Illustration of a person checking a weather report on a screen)
- 強風のときは窓ガラスにガムテープを貼りましょう。** (Illustration of a person taping windows)
- 外出は控えましょう。** (Illustration of a person staying home)
- 植木などは室内に入れましょう。** (Illustration of a person moving plants indoors)
- 大雨のときは貴重品を2階に置きましょう。** (Illustration of a person moving valuables to the second floor)

避難するときの注意点

適切な避難の時期を確認しよう

洪水の正しい避難行動は、「**浸水が始まる前に避難する**」ですが、万が一の事態に備え、ハザードマップより自宅の浸水深を確認し、P4の「避難行動を確認しよう!」のフローチャートや下図のイラストから避難を判断しましょう。



避難行動を確認しよう!

洪水の正しい避難行動は、浸水が始まる前に避難することですが、万が一の事態に備え、下のフローチャートからいざというときの避難行動について確認しておきましょう。

あなたの住まいは、どの浸水深の区域、の中にありますか?

※P10の「家のハザードマップを確認しよう!」

浸水深 10.0m以上	1階建・2階建	浸水前: 避難 <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に待機 <input checked="" type="checkbox"/> 浸水後: 避難 <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に待機 <input checked="" type="checkbox"/> 浸水が始まった後の避難行動は大変危険です。早めの避難が必要です。
	2階建以上	浸水前: 避難 <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に待機 <input checked="" type="checkbox"/> 浸水後: 避難 <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に待機 <input checked="" type="checkbox"/> 浸水が始まった後の避難行動は危険です。
	1階建	浸水前: 避難 <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に待機 <input checked="" type="checkbox"/> 浸水後: 避難 <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に待機 <input checked="" type="checkbox"/> 浸水が始まった後の避難行動は大変危険です。早めの避難が必要です。
浸水深 5.0m~10.0m未満	2階建以上	浸水前: 避難 <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に待機 <input checked="" type="checkbox"/> 浸水後: 避難 <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に待機 <input checked="" type="checkbox"/> 浸水が始まった後の避難行動は危険です。
	1階建	浸水前: 避難 <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に待機 <input checked="" type="checkbox"/> 浸水後: 避難 <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に待機 <input checked="" type="checkbox"/> 浸水が始まった後の避難行動は大変危険です。早めの避難が必要です。
浸水深 3.0m~5.0m未満の区域に住んでいる	2階建以上	浸水前: 避難 <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に待機 <input checked="" type="checkbox"/> 浸水後: 避難 <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に待機 <input checked="" type="checkbox"/> 浸水が始まった後の避難行動は危険です。
	1階建	浸水前: 避難 <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に待機 <input checked="" type="checkbox"/> 浸水後: 避難 <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に待機 <input checked="" type="checkbox"/> 浸水が始まった後の避難行動は危険です。
浸水深 0.5m未満の区域に住んでいる	1階建・2階建	浸水前: 避難 <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に待機 <input checked="" type="checkbox"/> 浸水後: 避難 <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に待機 <input checked="" type="checkbox"/> 浸水が始まった後の避難行動は危険です。

浸水の中の避難は、とても危険です!! 浸水前の避難を心がけましょう!

動きやすく安全な避難するときは、動きやすい服装にしましょう。ヘルメットや防災ずきり、靴はしめられる底の厚い運動靴は浸水が深いと中たまるため動きにくく素足は厳禁です!

歩ける深さに注意。歩行可能な水深は、ひざの高さくらい(約50cm)です。水の流れが速ければ、20cm程度でも要注意です。無理をせず、高所で救助を待ちましょう。

足元に注意する!! 水筒下にはマンホールや側溝などの危険があるため、長い棒を代わりに突き、確認しながら進みましょう。

車での避難は控えて。車での避難は緊急車両の通行の妨げになるほか、交通渋滞を招きます。また、浸水した場合は、水圧でドアが開かなくなる危険もあります。**自宅待機への備え**。自宅待機した場合に備え、P10「非常持出品・非常備蓄品」を参考に、必要なものをそろえておきましょう。

集団での避難を!! 単独行動をせず、集団で避難しましょう。

足元に注意する!! 水筒下にはマンホールや側溝などの危険があるため、長い棒を代わりに突き、確認しながら進みましょう。

車での避難は控えて。車での避難は緊急車両の通行の妨げになるほか、交通渋滞を招きます。また、浸水した場合は、水圧でドアが開かなくなる危険もあります。**自宅待機への備え**。自宅待機した場合に備え、P10「非常持出品・非常備蓄品」を参考に、必要なものをそろえておきましょう。